

キュレーター 三木あき子さん「村上隆の五百羅漢図展」

今回の展覧会は《五百羅漢図》を中心としてはいますが、数点を除いて、大半が本展のために制作された新作になります。

内容的には回顧展ではなく、村上さんの今を見せる内容となっています。特に近年、村上さんは日本美術の伝統に本格的に取り組んでいるので、その活動をご覧ください。



《五百羅漢図》右「青竜」、左「白虎」（撮影：高山幸三）

例えば、最初の部屋に飾られた30mの新作絵画は、音楽でいえばベスト・アルバムのような作品といえるでしょう。

また、巨大な金色の彫刻もあります。この作品は10年以上かけて、いまだに完成していない、村上さんの彫刻的実験の最新系です。ぜひご注目ください。

「村上隆の五百羅漢図展」は、六本木ヒルズ森タワー53階の「森美術館」にて開催中です。

(2016.02.24)

現代版《五百羅漢図》をぜひその目で

昨年10月より開催されているこの展覧会は、日本では2001年以来、実に14年ぶりとなる村上隆氏の大規模個展で、全作品が日本初公開です。なかでも圧巻なのが全長100mを超える《五百羅漢図》で、2012年にカタルー・ドーハで公開された時は未完成品でしたが、今回「玄武」が完成し、世界初の“完成版”での公開となります。

《五百羅漢図》は釈迦の教えを広めた500人の弟子が描かれた作品で、長沢芦雪（1754～1799年）や、狩野一信（1816～1863年）等、歴代の芸術家たちも描いています。現代を代表する芸術家 村上隆はどの様に《五百羅漢図》を描いたか。ぜひその目で確かめてください。

開催概要

- 期間：2015年10月31日（土）～2016年3月6日（日）
- 時間：10:00～22:00（火曜 17:00まで）※入館は閉館30分前まで
- 場所：森美術館（六本木ヒルズ森タワー53階）
- 入場料：一般 ¥1,600、高校・大学生 ¥1,100、4歳～中学生 ¥600
- 主催：森美術館、朝日新聞社、NHKプロモーション
- ▶ 森美術館

村上隆：日本が生んだ世界的アーティスト

1962年、東京生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。日本画において初の博士号を取得。制作工房、ギャラリー等を含めたアートの総合商社である有限会社カイカイキキ代表。2008年に

は『タイム』誌が選ぶ「世界で最も影響力のある100人」に選出される。ルイ・ヴィトン、VANS、シュウウエムラ、六本木ヒルズ等の企業ブランディングのプロジェクトや、カニエ・ウェスト、ファレル・ウィリアムス、ゆず等、ミュージシャンとのコラボレーションでも知られる。近年は映画、映像制作も手掛け、2013年には初の実写映画監督作品「めめめのくらげ」を公開。TVアニメシリーズ『6HP』（Six Hearts Princess）の放映も控えている。

プロフィール



2000年から2014年までパレ・ド・トーキョー（パリ）チーフ/シニア・キュレーター。2011年ヨコハマトリエンナーレ アーティスティック・ディレクター。

アジア、欧州にて数多くの展覧会を手掛ける。主な企画・共同企画展に、「第46回ヴェネツィア・ビエンナーレ、トランスカルチャー」（1995年）、「台北ビエンナーレ：欲望場域」（1998年）、「荒木経惟」（2005年、バービカンアートギャラリー、ロンドン）、「チャロー！インドア」（2008年、森美術館その他国際巡回）等。2011年DAM建築本賞を受賞した『Insular Insight』等、共著・共編も多い。ベネッセアートサイト直島国際芸術顧問。